

A-Lab Exhibition Vol.21

物語の ものがたり

さわひらき

蓮沼昌宏

坂口佳奈・二木詩織

会期 ²⁰¹⁹12月14日(土) ~ ²⁰²⁰2月2日(日) / 会場 東京都アートラボ **A-Lab**

【同時開催】ソバットシアター 立体アニメーション撮影セット公開



物語の ものがたり



入場料無料

2019年 2020年
12月14日(土)~2月2日(日)
(12月29日~1月3日、火曜日休館)

月・水~金 11:00~19:00
土日祝 10:00~18:00

会場 あまらぶアートラボ A-Lab

主催 尼崎市

協力 Baycom
Art & Nepal

助成 文化庁
令和元年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

街は、ものがたりでできている。

街の中には、歴史に残るような「物語」だけではなく、一人ひとりや家族、友人と、また、地域の中での出来事など、さまざまな「物語」があります。それはとても個人的なものでもあったり、多くの人との思い出であったりします。街はそんな物語が折り重なって、存在しているといっても過言ではありません。本展では、さわひらき、蓮沼昌宏、坂口佳奈・二木詩織の3組4人の作家が、出来事、記憶、時間、空間、幻想、想像、憧憬など、「物語」を感じるいろいろな要素を「物語のものがたり」として捉え、作品を展開します。

さわひらき Sawa Hiraki

1977年石川県生まれ。2003年ロンドン大学スレード校美術学部彫刻家修士課程修了。ロンドン在住。自身の心象風景や記憶の中にある感覚といった実体のない領域を、映像・立体・平面作品などで構成されたビデオインスタレーションで表現する。【展覧会】2019 恵比寿絵像祭、2017 Reborn Art Festival (宮城)、札幌国際芸術祭、奥能登国際芸術祭 (石川)、2016 六甲ミーツ・アート、2011年成都ビエンナーレ (中国)、2010 アジア・パシフィック・トリエンナーレ、第17回シドニービエンナーレ (オーストラリア)



【参考図版】《platter》(2019)

蓮沼昌宏 Hasunuma Masahiro

1981年東京都生まれ。2010年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程芸術学専攻(美術解剖学)修了。2016-2017文化庁新進芸術家海外研修員(ドイツ)。現在愛知県で活動。19世紀後半に考案された、バラバラ漫画(フリップ・ブック)の原理で絵が動く装置「キノーラ」によるアニメーションを中心に、写真、絵画を制作。【展覧会】2019「Moving Scenery」(藝托邦藝文空間/台湾)「数えることによって獲得するもの」(gallery N/愛知)。「蓮沼昌宏 土地の見る夢」(越後妻有里山現代美術館キナーレ/新潟)。瀬戸内国際芸術祭(香川)。DOMANI・明日展(国立新美術館/東京)

【参考図版】《数えることによって獲得するもの》(2019)



©Hiroshi Tanigawa

坂口佳奈 Sakaguchi Kana・二木詩織 Futatsugi Shiori

2019年、京都のGallery PARCが主催する展示プランのコンペティションで採択され、2人で、絵画、映像、写真、物、地図など様々なアイテムで展開するインスタレーション「キャンプができればいいな。i wish i could camp」を発表。

○坂口佳奈 1991年熊本県生まれ。2019年武蔵野美術大学造形研究科修士課程美術専攻油絵コース卒業【展覧会】2019「KISO PAINTINGS vol.3 夜明けの家」(大銭や/やぶはら 長野)。2018 克服展(サンクトペテルブルク/ロシア)。2017 東京五大大展連合卒業制作展(国立新美術館)【受賞】2017 武蔵野美術大学卒業制作展優秀賞

○二木詩織 1993年神奈川県生まれ。2019年武蔵野美術大学造形研究科修士課程美術専攻油絵コース修了【展覧会】2017 青春スリーポイント計画(ArtCenter Ongoing/東京)、2015 個人的な生活 緩やかな断絶(ギャラリー monogram/東京)、小東京☆銀河 vol.8 品出し(府中卸売センター/東京)



【参考図版】《キャンプができればいいな。i wish i could camp》(2019)

関連イベント

★アーティスト・トーク

1月12日(日)午後3時から、定員先着30人。当日直接会場へ

★ワークショップ

①「あなたのソレと私のコレを交換する」

1月13日(月)午後1時30分~4時、参加者同士で身に付けている物を交換。交換した物を身につけてA-Lab周辺を探索し、坂口佳奈さん・二木詩織さんとの語りを作ります。

②「尼崎アニメーションラボ」

1月13日(月)午後2時半~4時半、蓮沼昌宏さんと背景1枚、動かすための絵を2つ描いて、小さなアニメーションを作ります。

いずれも、定員先着各10人。小学3年生以下は保護者同伴で。申し込みは電話かメールでA-Labへ。

【同時開催】

ソバットシアター 立体アニメーション撮影セット公開

会期中の月・水・土・日曜日限定

尼崎を拠点に活動する立体アニメーション制作チーム「ソバットシアター」。2009年に発表した「電信柱エレミの恋」では、文化庁メディア芸術祭アニメーション部門 優秀賞や毎日映画コンクール大藤信郎賞を受賞。現在次回作を制作中。今回A-Lab内で大型の撮影セットを組み、次回作の撮影を行います。それに合わせて、実際にコマ撮り立体アニメーションの撮影のセットを公開します。



あまらぶアートラボ

A-Lab

(尼崎市西長洲町2-33-1)

☎/FAX 06-7163-7108

mail: amalove.alab@gmail.com

尼崎市役所文化振興担当

☎06-6489-6385

